

～G I G Aスクール構想の実現に向けて～ 町内の小中学校の1人1台タブレット端末を整備しました

町では、文部科学省が提唱する「G I G Aスクール構想」の実現に向け、児童生徒1人1台のタブレット端末と各学校の通信ネットワーク環境を整備しました。

「G I G Aスクール構想」とは、先端技術を効果的に活用し、子どもたち一人一人の資質や能力などの多様な個性を誰一人取り残すことなく、最大限に引き出すことを目指しているものです。

各学校では、整備されたタブレットを有効活用するため、様々な取り組みをしています。

授業中に調べたいことをタブレットで検索したり、写真や動画を撮影し学習活動をまとめたり、子どもたちの自主的・自発的な学びを深めることができるようになりました。

今後は、タブレット端末から画面を共有して、他の人の意見や考えを共有するなど、子どもたち一人一人の習熟度にあった学習支援の実現に向けてICT教育を進めていきます。

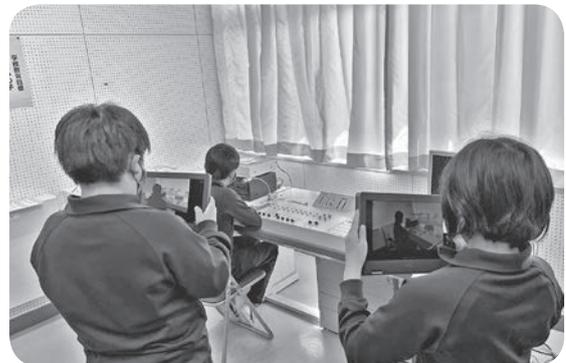
各学校ではタブレット端末を活用し、新しい試みを行っていますので、その様子を紹介します。



・タブレットを活用した授業風景（長瀬第一小学校）



・タブレットを活用した授業風景（長瀬第二小学校）



・リモートで行った卒業式の様子（長瀬中学校）

3月13日(土)に執り行われた長瀬中学校卒業式では、整備したタブレットを活用し、新型コロナウイルス感染症対策のため、式場に入れなかった在校生たちは、各教室内のモニターに映し出された卒業式の様子を自席で見ながら、卒業生たちに感謝の気持ちを込め、温かい拍手を送っていました。

今の子どもたちにとってタブレット端末は、鉛筆やノートにならぶ「現代の文房具」です。

町としても、学校教育におけるICT機器を、子どもたちが適切に活用し、学びの恩恵を受けられることを期待しています。

問合せ

教育委員会教育総務担当 ☎66・3111 内線303